

< 新規受託項目のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、新たに下記項目の検査受託を開始することとなりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

《実施日》

2021年 10月 1日（金）受付分より

《新規受託項目》

[8088] 鳥特異的IgG

鳥関連過敏性肺炎は過敏性肺炎の1つで、鳥排泄物(鳥飼育、自宅庭への鳥飛来、鶏糞肥料使用など)や羽毛(羽毛布団、ダウンジャケット、剥製など)に含まれる抗原が原因となり発症します。

過敏性肺炎は、環境中の特定の抗原を繰り返し吸入することで発症するアレルギー性の間質性肺炎であるため、過敏性肺炎の診断後は原因となる抗原を回避することが重要となります。

本検査は血液中のセキセイインコおよびハトのIgG抗体価を測定する検査で、鳥関連過敏性肺炎の診断補助検査として2021年6月に保険適用されました。

※ 検査要項は裏面に掲載しております。

《検査要項》

項目名	鳥特異的IgG
項目コード	8088
検体/保存	血清 0.5 mL / 冷蔵
容器	容器番号 1 (生化学用採血管)
検査方法	FEIA法
基準値	判定 : 陰性 (-) セキセイインコIgG : 8.00 mgA/L未満 ハトIgG : 24.00 mgA/L未満
所要日数	3~4日
検査機関	BML
検査実施料	873点*
判断料	144点 (免疫学的検査)
診療報酬区分	「D012」感染症免疫学的検査「52」
備考	*: (新設) 診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として、EIA (FEIA) 法により、鳥特異的IgG抗体を測定した場合は、本区分の「52」抗トリコスポロン・アサヒ抗体の所定点数を準用して算定する。 なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。